

社会科にチャレンジ

CHALLENGE SOCIAL STUDIES



広島大学大学院 准教授

永田 忠道先生

関西学院初等部 教諭

宗實 直樹先生

「社会科にチャレンジ」は、日本文教出版の『小学社会』の教科書の監修者のお一人である永田忠道先生（広島大学大学院准教授）と社会科の実践に日々取り組んでおられる宗實直樹先生（関西学院初等部教諭）による学習問題をつくる場面での工夫や面白さについてのお話を収録したものです。

小学校の社会科が、いかに魅力的な教科であるかを伝えるコンテンツとなっています。このリーフレットは頻出語やキーワードを解析する「テキストマイニング」で動画の内容を示して概要をお伝えするとともに、QRコードからすぐにご視聴いただけるように作成いたしました。

ぜひ、YouTube「日文チャンネル」で動画をご覧ください。

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報
詳しくはWebへ!

日文 検索



contents

- 1 「学習問題と学習計画」 中学年を事例に 一主語を大切にー
- 2 「学習問題と学習計画」 高学年を事例に 一予想から学びを深めていくー
- 3 「社会科のむずかしさから探究的に学ぶ楽しさへ」 見通しから振り返りへ
- 4 収録を終えて 永田忠道先生と宗實直樹先生の社会科への熱い思い

※本冊子掲載 QR コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
※ QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

書籍のご案内

地域から創出される社会科の「深い学び」とは？



- 「授業構想シート」と「授業分析シート」を活用した授業づくり
- 「深い学び」へ誘う5つのしかけとは？
- 「学び」問いの連続」を原点にした校内研修
- 思考の山場を生み出す1単位時間の授業改善
- 教科書教材と地域教材の組み合わせで「深い学び」を創り出すためのポイント
- 子どもの姿から「学びの深まり」を見取るために

深い学びへ誘う社会科の授業づくり

視点の意識化と問いの質の向上への取り組み
～兵庫県佐用町立利神小学校の研究から～

著者 広島大学准教授 永田忠道
元兵庫県佐用町立利神小学校校長 桑田隆男

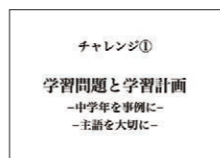
●B5判／116ページ
●定価2,200円
(本体2,000円+税10%)

書籍のご購入をご希望の方は、全国の書店、またはamazon等のオンライン書店にてお買い求めください。

Challenge 1

「学習問題と学習計画」 中学年を事例に —主語を大切に—

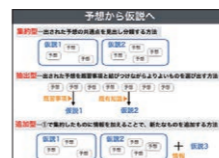
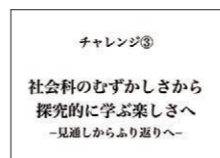
中学年の安全の単元（消防・警察）を中心に、学習問題をつくる際の注意点として、主語が大切であるという考えを説明していただきました。あわせて、単元に入る際の注意点や単元を貫く学習問題づくりについても提案していただきました。



Challenge 3

「社会科のむずかしさから 探究的に学ぶ楽しさへ」 —見通しから振り返りへ—

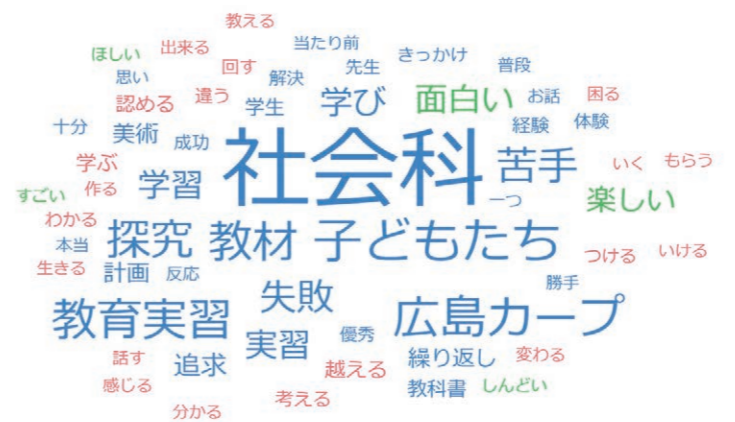
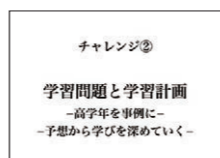
問いを引き出すポイントや、予想すること、仮説を立てることなど、社会科の学習での面白さや、よく練られた学習問題をつくることにより単元のまとめも充実した学習になっていくことを、ICT機器の活用も交えてお話をいただきました。



Challenge 2

「学習問題と学習計画」 高学年を事例に —予想から学びを深めていく—

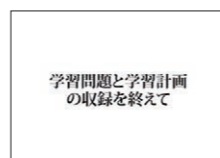
高学年の食料単元(米作り)や工業単元（自動車）を中心に、発達段階や社会科の学習における中学年と高学年の違いをふまえた内容となっています。高学年での学習問題のつくり方や学習計画の立て方についてお話をいただきました。



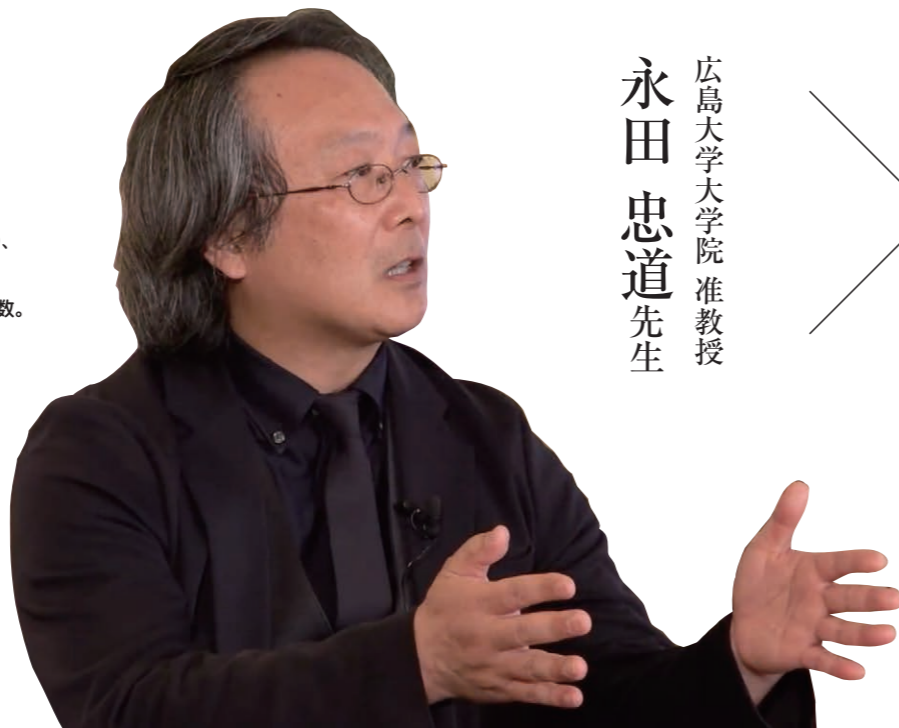
Conversation 4

収録を終えて —永田忠道先生と宗實直樹先生の 社会科への熱い思い—

ポーナストラックとして本編収録後の様子を収録しています。少し緊張がほぐれた時間に、三つの動画で語りきれなかったところなどをお話していただきました。社会科を研究する喜びや魅力を語るお二人の実生活も垣間見ることができます。



広島大学大学院人間社会科学部研究科准教授。
1970年鹿児島県伊佐市生まれ。
全国社会科教育学会常任理事。
日本生活科・総合的学習教育学会事務局長。
国立教育研究所教育課程研究センター研究員。
大分大学准教授を経て現職。
平成29年版小学校社会科学習指導要領作成協力者。
共著に『深い学びへ誘う社会科の授業づくり』（日本文教出版）、
『地域からの社会科の探究』（日本文教出版）、
『新社会科授業づくりハンドブック小学校編』（明治図書）他多数。
教科書『小学社会』著者（日本文教出版）
出身地の鹿児島県伊佐市は焼酎発祥の地と呼ばれ社会科見学は当然のように焼酎工場。
広島での生活が通算で20年を超え
瀬戸内海を望む書斎でのお供は日本酒。



永田忠道先生
広島大学大学院准教授

関西学院初等部教諭。
1977年兵庫県姫路市夢前町生まれ。
授業研究会「山の麓の会」代表。
社会科授業UD研究会所属。
『宗實直樹の社会科授業デザイン』（東洋館出版社）
『社会科の「つまずき」指導術』（明治図書）
『深い学びに導く社会科新発問パターン集』（明治図書）。
共著に『実践！社会科授業のユニバーサルデザイン 展開と技法』（東洋館出版社）他多数。ブログ「社会のタネ」（<https://yohhoi.hatenablog.com/>）において、社会科理論や実践を中心に日々発信中。
兵庫県姫路市の公立小学校、瀬戸内海に浮かぶ島の小学校を経て2015年より現職。
大学では芸術系美術分野を専攻し、美学と絵画（油彩）を中心に学ぶ。

宗實直樹先生
関西学院初等部教諭



TADAMICHI
NAGATA

NAOKI
MUNEZANE